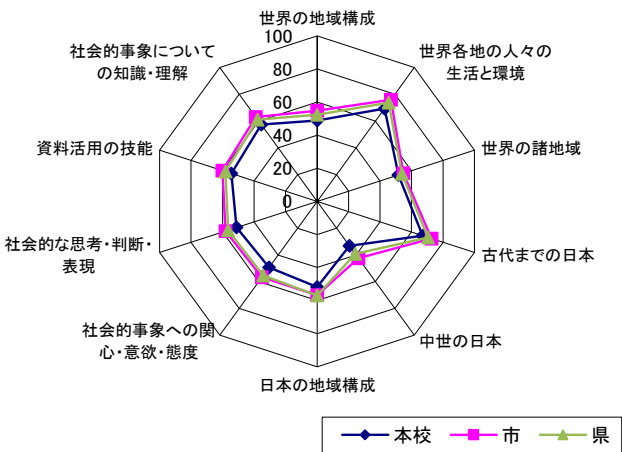


宇都宮市立陽南中学校 第2学年【社会】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	世界の地域構成	48.9	54.7	52.3
	世界各地の人々の生活と環境	69.3	75.9	73.7
	世界の諸地域	51.7	54.8	53.9
	古代までの日本	67.1	72.7	70.5
	中世の日本	33.3	42.4	39.3
	日本の地域構成	51.8	56.7	56.9
	社会的事象への関心・意欲・態度	49.3	56.7	55.3
観点	社会的な思考・判断・表現	51.1	58.1	56.4
	資料活用・技能	54.4	60.1	58.2
	社会的事象についての知識・理解	57.4	62.9	61.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
世界の地域構成	世界の地域構成の領域では、県の平均を3.4ポイント下回っている。 ○世界の地域区分を理解する問題では、正答率が75%を越えている。 ●地図の特色を把握する問題では、正答率が20%を下回っている。	・地図の特色を把握する問題については、「緯線と経線が直角に交わった地図」、「中心からの距離と方位が正しい地図」、「面積が正しい地図」での、それぞれの目的・活用方法を地図を使って復習し、問題練習に数多く取り組ませることで理解を深めさせる。
世界各地の人々の生活と環境	世界各地の人々の生活と環境の領域では、県の平均を4.4ポイント下回っている。 ●冷帯気候のひとつの暮らしについて、複数の資料をもとに考察する問題では、正答率が70%を下回っている。	・世界各地の気候帯について判断する問題については、地球儀・地図だけではなく動画資料も活用して、より直接体験に近づけた学習を進める。
世界の諸地域	世界の諸地域の領域では、県の平均を2.2ポイント下回っている。 ○北アメリカ州の地形を問う問題では、県の平均を上回っている。 ●モノカルチャー経済の国が抱える課題を考察し表現する問題では、県の平均を下回っている。	・授業の中で、資料をもとに考察する課題に数多く取り組ませて、理解を深めさせる。
古代までの日本	古代までの日本の領域では、県の平均を3.4ポイント下回っている。 ○古代文明の起こりを問う問題では、正答率が県の平均と同程度であった。 ●世紀の表し方や奈良時代の人々の負担を問う問題では、県の平均を下回っている。	・それぞれの時代の人々の負担を理解する問題について、資料や動画資料を活用し、当時の法律やその目的および人々への影響を考察する学習を通して、理解を深めさせる。
中世の日本	中世の日本の領域では、県の平均を6ポイント下回っている。 ○鎌倉幕府の執権政治を問う問題では、県の平均と同程度の正答率だった。 ●鎌倉武士の御恩と奉公・建武の新政による政治混乱等を問う問題では、県の平均を下回っている。	・中世の政治における武士の変容を、年表や各資料を活用して、時代を横断した大きな流れで、歴史を理解できるように学習を進めさせる。
日本の地域構成	日本の地域構成の領域では、県の平均を5.1ポイント下回っている。 ○排他的経済水域を問う問題では、県平均と同程度の正答率だった。 ●日本の領域をめぐる問題について問う問題では県の平均を下回っている。	・日本の地域構成の領域では、写真資料や動画資料を活用して、日本が周辺諸国とのあいだに抱える問題と関連づけて学習を進めさせる。